

水素使いCO₂削減提案

高校生が社会課題解決策発表 三島北が最優秀



二酸化炭素排出量の削減方法について発表する三島北高の生徒＝静岡市駿河区の県立大

高校生がエネルギーを活用して社会的課題の解決策を提案する「高校生が競うエネルギーピッチ！」(電気新聞主催、静岡新聞社・素排出量の削減方法を

静岡県立三島北高が最優秀賞を受賞した。20日に同市内で予選を行い、本選の審査と合わせて評価した。

このほかの成績は次の通り。

提案した三島北高が最優秀賞を受賞した。同校のほか、駿河総合高、科学技術高、浜松開誠館高、静岡聖光学院高が参加。生徒は8月から、持続可能な開発目標(SDGs)に関する課題を抽出し、解決策を研究してきた。地球温暖化やプラスチック問題に着目し、現状や解決策の利点、課題についてスライドを用いて説明した。

常葉大名誉教授の山本隆三さんから5人が審査員を務めた。20日には同市内で予選を行い、本選の審査と合わせて評価した。

優秀賞 駿河総合、浜松開誠館▽静岡新聞社賞 静岡聖光学院▽電気新聞賞 科学技術